

BRICK MORTAR BR

レンガ積み工事材／粗面仕上用化粧目地材
ブリックモルタル

シーリング材化粧材
弾性目地（BR）

レンガ積み工事材・粗面仕上化粧目地材 ブリックモルタル

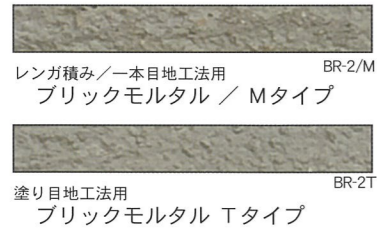
粗面仕上用化粧目地材（化粧目地専用材）
ブリックモルタル **Mタイプ**

粗面仕上用化粧目地材（化粧目地専用材）
モザイクユニットタイル専用
ブリックモルタル **Tタイプ**



荷姿：25kg紙袋

(参考) 仕上がりの違い



レンガ積み／一本目地工法用
ブリックモルタル Mタイプ
塗り目地工法用
ブリックモルタル Tタイプ

FEATURES AND BENEFITS

高品質プレミックスモルタル

ブリックモルタルは、結合材や骨材、混和材など全ての原材料を弊社工場にて予め配合した状態で出荷するレンガ積み・目地詰め工事用のプレミックスモルタルです。袋を開け、水を加えて練るだけで高性能かつ作業性の良いモルタルが簡単に準備できますので、現場での無理、ムラ、無駄を効果的に減らします。

柔軟な施工性～選べる3タイプ

レンガ積み工事ができるブリックモルタルと、目地詰め工事専用（一本目地工法向）のMタイプ、更にはモザイクユニットタイルへの目地詰め工事専用（塗り目地工法向）のTタイプの3種類を現場の状況や施工仕様に合わせてお選び頂けます。

白華を抑制し、美観を、施工面を守る

建物の美観を著しく損ねる白華、弊社ではその発生のメカニズムを紐解き、白華の原因となる物質と反応してモルタル表面に発生する白華を抑制する混和材を配合、建物の美観を守ります。また目地材として使用した際は、施工面（張付材）を風雨などから守りタイルの剥落等も防ぎます。

豊富な実績—特注色も1袋からご用意します

弊社はレンガ工事材料のパイオニアとして数十年の実績があり、全国でご使用頂いております。また、特殊な施工にも柔軟に対応できる技術力とノウハウの蓄積があります。標準色として人気や実績などから選び抜いた10色をご用意しています。また、タイルの色等、お好みの色をご指定頂ければ、特注色として1袋から受注します。着色材には厳選した高性能な無機顔料を使用していますので、耐候性が高く長期間に渡って鮮やかな発色が持続します。

APPLICATIONS

	ブリックモルタル	ブリックモルタル Mタイプ	ブリックモルタル Tタイプ
レンガ積み	○	×	×
目地詰め (推奨目地幅)	○ (目地幅：10mm以上)	○ (目地幅：8～15mm)	○ (目地幅：5～10mm)

ESSENTIAL OF QUALITY BRICKWORK



Making quality premix mortar through research and development



かき落とし（ささら）



おさえ（目地ゴテ）



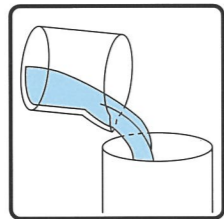
かき落とし（ささら）

本項では便宜上、ブリックモルタルMタイプを「Mタイプ」、ブリックモルタルTタイプを「Tタイプ」と表記しています。

製品プロフィール

製品シリーズ	ブリックモルタル	ブリックモルタル Mタイプ	ブリックモルタル Tタイプ
特長	レンガ積み、目地詰め の両方に対応する材料	細めの骨材を配合した目 地詰め専用材料	モザイクユニットタイル への目地詰め専用材料
適応部位	内外装壁面、床面		内外装壁面
標準施工面積 (レンガ積み)	約0.5㎡/袋 レンガサイズ：210×100×60mm 目地幅：10mm	—	—
標準施工面積 (目地詰め)	約4㎡/袋 二丁掛タイル：227×60mm 目地幅：10mm、目地深さ：15mm		約15㎡/袋 モザイクユニットタイル：45×95mm 目地幅：5mm、目地深さ：5mm
適応目地幅	10mm以上	8～15mm	5～10mm
適応工法	レンガ積み 普通レンガ積み、特殊レン ガ積み、中空積み 目地詰め 1本目地工法	目地詰め 1本目地工法	目地詰め 塗り目地工法、1本目地工法

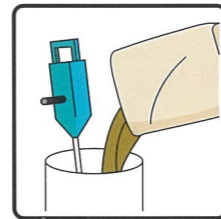
材料の混練 (練水量)



ブリックモルタル
3.2 kg

ブリックモルタル Mタイプ
3.5 kg

ブリックモルタル Tタイプ
4.2 kg



ハンドミキサー等でダマの
残らないようによく混練
して下さい。

レンガ積み施工要領



※Mタイプ、Tタイプではレンガ積み工事は出来ません
※実際の施工にあたっては、事前に仕様・工法を確認し、施工監理者とよく打ち合わせの上、施工を行って下さい。



1. レンガ積み

- 積み上げ部の下地を清掃する。
- 設計図面に従い、墨出し、水糸張りを行う。
- 引き金物を使用する場合は、その仕様・配置など設計図書に従う。
- 積み上げ部の下地に水湿しを行い、表面水が引いた程度でブリックモルタルを敷き均す。敷きモルタルはレンガを水糸の位置に合わせて圧着した時、レンガ表面からはみ出すように塗厚を整える。
- 基準レンガを敷きモルタルの上に載せる。
- コテの柄でレンガを叩きながら水糸に合わせて位置決めを行う。はみ出した目地モルタルは直ぐには目地切りを行わず、やや締まった状態で行う。目地切りを行ったあとの表面にも締まりのあるタイミングがよい。
- レンガの側面(片側)に縦目地となるブリックモルタルを塗付ける。
- 縦目地を塗り付けたレンガを敷きモルタルの上に載せ、小幅にずらしながら基準レンガの側面と縦目地モルタルを隙間のないように密着させる。

- コテの柄でレンガを叩きながら縦目地を設計幅に調整しつつ、高さを水糸の位置に合わせる。
- 前述(6)～(8)を繰り返し1段目を水平に積み進める。
- 2段目以降の施工は、前述までの要領と同様に行う。
水湿しについては、当日、水から揚げて積み上げたレンガには必要ないが、前日までに積み上げた既設レンガについては左官刷毛などで敷き均し面に水湿しを施す。
- 1日の積み上げは5～6段までとする。(下段の目地モルタルがつぶれない高さ)
- モルタルを裏込めする場合は、目地モルタルの締まり具合を考慮しながら詰める。



2. 目地仕上げ

- レンガの積み上げ時、はみ出した目地モルタルがやや締まった状態になったらコテを使用してモルタルを切り落としレンガと目地の表面を合わせる。目地切りを行ったあとの表面にも締まりのある状態がよい。積み上げ中に適宜締まり具合を確認しながら行う。切り落とした表面が水分の多い状態であると、白華現象の原因になるため注意する。
- スポンジに水を含ませた後、固くしぼってレンガに付着したモルタルを拭き取る。目地モルタルに極力水を吸わせないように注意する。
- 仕上げ
 - 目地モルタルがやや締まった状態を見計らい、硬めのホウキやブラシなどで目地の方向に沿って表面を薄く削り取るように掃き均す。削った時にブラシ等にモルタルが粘り付かないタイミングが良い。
 - 周辺に付着したモルタルを刷毛ではき落とす。染みついた場合はスポンジに水を含ませた後、固くしぼって拭き取る。この時目地モルタルを濡らさないよう注意する。

3. 養生

施工後、シート掛けなどの養生を講じ、水濡れや凍結などから保護できる処置を施す。

目地詰め施工要領 - 1本目地工法



※実際の施工にあたっては、事前に仕様・工法を確認し、施工監理者とよく打ち合わせの上、施工を行って下さい。



1. 目地詰め

- ドライアウト防止のため必要に応じて目地部に水湿しを行う。
- 目地詰め用のチューブ袋に練り混ぜたブリックモルタルを詰め込む。チューブに満量詰めると吐出しにくくなるため、適度な量を見計らう。
- 目地部に沿って絞り出すようにして充填する。仕上げ面より若干厚く付けておく。
- 乾燥具合を見計らい、硬めのホウキやブラシなどで目地の方向に沿って表面を薄く削り取るように掃き均す。削った時にブラシ等にモルタルが粘り付かないタイミングが良い。
- タイルに付着したモルタルは、軟らかいうちに水を固く絞ったスポンジで除去する。このとき、充填したモルタルが濡れないように注意する。

2. 養生

施工後、シート掛けなどの養生を講じ、水濡れや凍結などから保護できる処置を施す。

目地詰め施工要領 - 塗り目地工法



※ブリックモルタル、Mタイプは塗り目地工法では施工出来ません
※実際の施工にあたっては、事前に仕様・工法を確認し、施工監理者とよく打ち合わせの上、施工を行って下さい。



1. 目地詰め

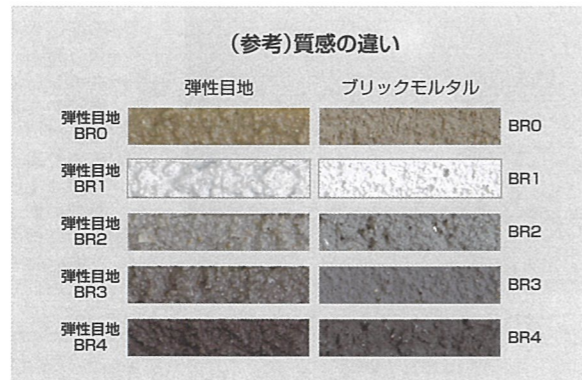
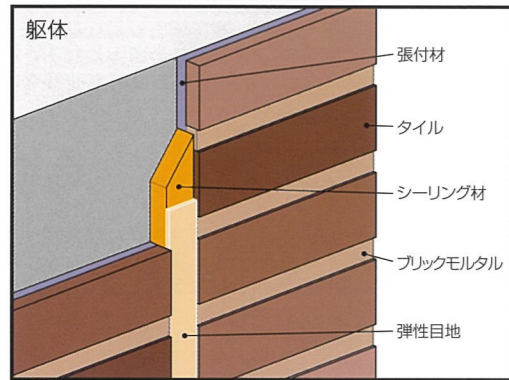
- ドライアウト防止のため必要に応じて目地部に水湿しを行なう。
- 練り混ぜたブリックモルタルを、ゴムコテでタイル面から押さえるように目地部に塗り込み、目地内部に空隙が残らないよう繰り返し充填する。
- 目地詰め後、乾燥具合を見計らい、スポンジに一度水を含ませて水が出なくなるまで固く絞り、タイルの表面を一度荒拭きして汚れを軟らかく戻す。
- スポンジのきれいな面で目地の通りに対して斜に拭き取る。
- 汚れたスポンジは水洗いを行ない、(4)の拭き取りを繰り返す。
- 拭き取り後に目地表面に浮き水が残っていると色ムラの原因になるので、浮き水が残らないよう注意する。
- 場所によって拭き取るタイミングに差がでると、色ムラのでる恐れがあるので注意する。

2. 養生

施工後、シート掛けなどの養生を講じ、水濡れや凍結などから保護できる処置を施す。

弾性目地 伸縮調整目地用シーリング材の化粧目地材 弾性目地はシーリング材ではありません

弾性目地は、「ブリックモルタル」に準じた色調・風合いを有する特殊樹脂を結合材とした化粧目地材です。タイル・レンガ建築の仕上げにおいて伸縮調整目地を設ける場合、施工するシーリング材の上から弾性目地を塗付けることにより伸縮調整目地部とブリックモルタルで施工した化粧目地部との色調・風合いを合わせる事で壁面の意匠を統一し、タイル・レンガ建築の付加価値を高めます。



荷 姿



3.5kgセット

(粉 体：2.5kgアルミバッグ)
(専用樹脂：1kgアルミバッグ)

標準施工面積

目地幅10mm、目地深さ5mmの場合

約20m

【弾性目地】

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0908051
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

【弾性目地専用樹脂】

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0908052
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

製品タイプ ・弾性目地は施工するブリックモルタルのタイプに合わせてご用命ください。

製品タイプ	対応する弾性目地
ブリックモルタル	弾性目地
ブリックモルタル Mタイプ	
ブリックモルタル Tタイプ	弾性目地 Tタイプ

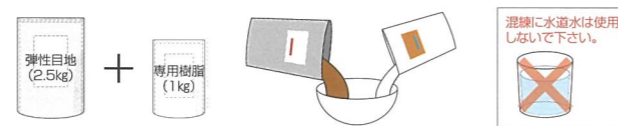
施工方法 ※詳しくは施工要領書をご請求ください。

① 施工前準備

- 弾性目地は伸縮調整目地材ではありませんので、必ず伸縮調整目地材(シーリング材)を規定される寸法で充填し、硬化させてください。
- 弾性目地充填部に隣接するタイル・レンガの表面、その他要所にマスキングを施してください。弾性目地は付着すると汚れの除去が困難になりますので十分ご注意ください。
- 直射日光、強風を受けないようシート掛け等によって施工面を保護してください。
- 施工前に下地となるシーリング材表面を十分に乾燥させてください。

② 材料の混練

- 弾性目地1袋(2.5kg)と専用樹脂1袋(1kg)とを大きめのボウルなどの容器で大きめのサジなどをを用いて十分に混合してください。練り混ぜた弾性目地は20分以内にご使用ください。
※弾性目地は水道水(練り水)を加えて混練しないでください。



まとめて混練する場合は、モルタル用かくはん機を用いてください。

③ 目地詰め

- 練り混ぜた弾性目地を「目地詰め用のチューブ」もしくは「コーキングガン(カートリッジ)」に充填し、目地部に沿ってシーリング材表面に良く密着するようにしぼり出してください。
- 材料の表面が乾燥する前にヘラで表面を均してください。
- 硬化前にマスキングを除去してください。

④ 養生

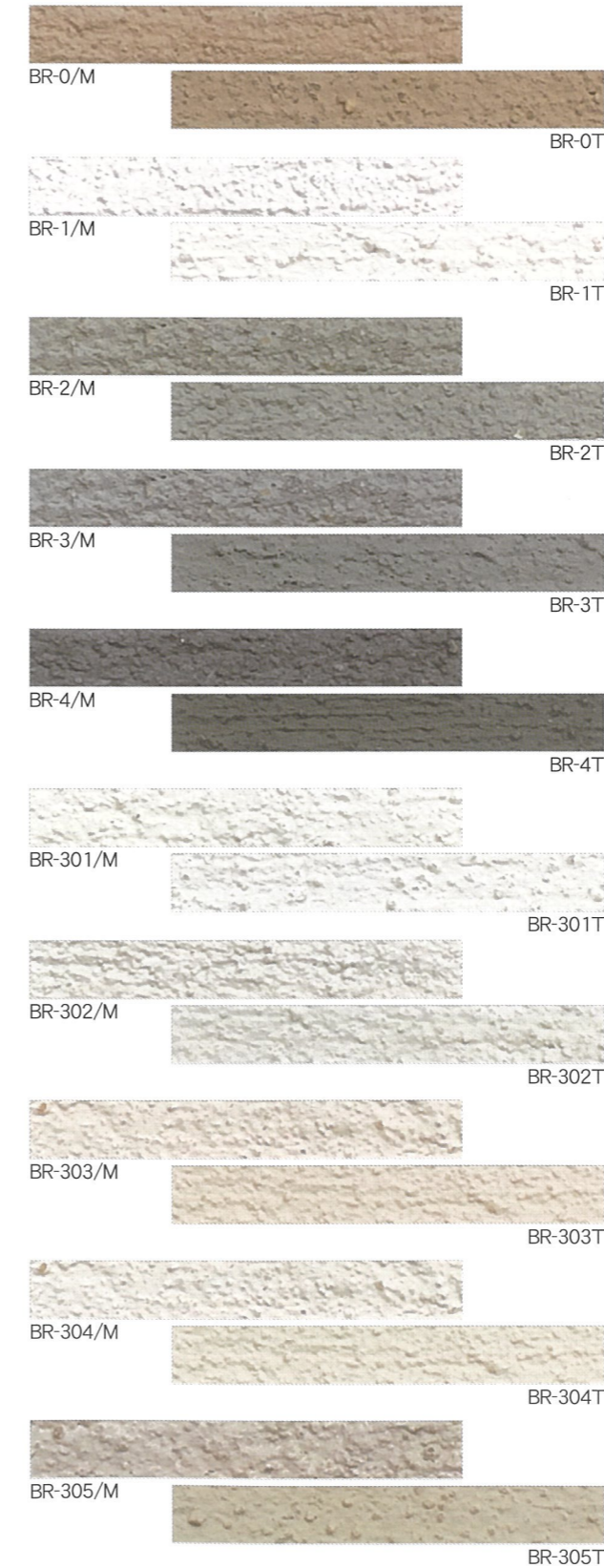
- 施工後2日間はシート保護を行ってください。白く変色する恐れがある為、洗い水等の付着も受けけないよう十分注意してください。

注意事項

- 弾性目地は、結合材に特殊樹脂を使用しますので硬化しても表面に光沢が残る、同じ番号のブリックモルタルと全く同じ質感・色調にはなりません。その為、施工前には必ずモックアップ等で質感や色調をご確認のうえご使用ください。
- 弾性目地は、完全受注製品ですので、ご注文からお納めするまで多少お時間を頂く場合がございます。あらかじめご了承下さいます様、お願い致します。

COLOR SELECTION

レンガ建築を引き立てる伝統色、定番色、人気色を10色選びました



※本色見本は印刷イメージの為、実際の色調とは異なって見える場合があります

ATTENTION

ブリックモルタルは、本社工場製品となります。

● 施工上の注意

- 目地詰め後、酸洗いの濃度は、工業用塩酸2%以下を厳守して下さい。濃度が濃いとノロ分が流れてしまい仕上がりが悪くなります。
- Mタイプを塗り目地工法では施工しないで下さい。スポンジ仕上げ拭き後に骨材が偏って露出してしまい仕上がりが悪くなります。
- 寒冷期、気温が3℃以下及び3℃以下になると予想される場合は、原則として施工は行わないで下さい。(やむを得ず施工を行わなければならない場合は、十分な養生を行って下さい)
- レンガ積み工事に際して、レンガは施工前に必ず浸水養生を行って下さい。
- 目地詰め工事に際しては、タイル張付け後、十分な養生期間を確保して下さい。
- 混練水の他、弊社が指定した材料以外との混合・混練はしないで下さい。
- 強度などモルタルの物性に悪影響を及ぼすため、水を加えて練り直しをしないで下さい。
- 色調を一定に保つため、水量の管理は厳密に行ってください。
- 色調が変化する事がありますので、練り足しはしないで下さい。
- 固まったものの使用は、避けて下さい。
- 開封後の材料は、使いきってください。
- 使用後の道具、工具類は速やかに水洗いして下さい。
- タイル・レンガ等の材質や表面の仕上げ等によっては、材料がタイル・レンガ等の表面に付着したまま乾燥すると、材料が取れにくくなる事があります。

● 保管上の注意事項

- 製品の保管は、湿気の少ない場所にパレット等を利用し、地面(床)より離して保管して下さい。
- 直射日光のあたる場所、風雨及び雨のあたる場所に保管する場合は、シート掛けなど十分な養生を行って下さい。

● 取扱い上の注意事項

- 取扱いには、適切な保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用して下さい。
- 取扱い後は、顔、手、口等は、清浄な水で洗浄して下さい。
- 衣類等に付着したものは、取れない時がありますので、十分に注意して下さい。

● 安全上の注意事項【応急処置】

- 目に入った場合は、速やかに多量の清浄水で洗浄し、状況に応じ眼科医師の診断を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合は、付着した部分を石鹸で洗い流した後、状況に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 吸入して気分が悪くなった場合は、速やかに空気の新鮮な場所に移動してうがい等を行って下さい。
- 気分が優れない場合は、状況に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合は、多量の水を飲み吐きだした後、直ちに医師の診断を受けて下さい。

● 輸送上の注意事項

- 紙袋であるため、荷積みには注意し荷崩れ防止等に配慮して下さい。
- 紙袋であるため、降雨等の水濡れ防止に配慮して下さい。

● 漏出時の注意事項

- 飛散した粉末は、掃除機等で吸い取って回収して下さい。

● 廃棄上の注意事項

- 内部で廃棄処理する場合は、該当法規に従って廃棄物処理を行って下さい。(国、都道府県並びに地方の法規、条例等に従って下さい)
- 外部に委託する場合は、廃棄物処理業者に、内容を明確にして処理を委託して下さい。

S D S等は別途ご請求下さい

【ご注意下さい】

- ブリックモルタル(本社工場製品)とブリックモルタルDS(関東工場製品)とは製品仕様や製品構成(タイプ分けや通常色の色調等)が異なりますのでご注意ください。
 - ブリックモルタルDS(関東工場製品)は、エコマーク認定製品となります。
 - ブリックモルタル(本社工場製品)は、当社大阪営業所、福岡営業所にて取り扱っております。
- ご不明な点はお相談下さい。



二瀬窯業株式会社

<http://www.futaseyogyo.co.jp/>

本 社 ・ 工 場 福岡県飯塚市横田669
〒820-0044 TEL 0948-22-0447 FAX 0948-29-0289

関 東 工 場 千葉県木更津市新港15-8
〒292-0836 TEL 0438-30-7372 FAX 0438-30-7472

本社営業グループ 福岡県飯塚市横田669
〒820-0044 TEL 0948-22-0447 FAX 0948-29-0289

東 京 営 業 所 東京都港区芝2-27-8 マスマンビル2F
〒105-0014 TEL 03-6453-6685 FAX 03-6453-6686

名 古 屋 営 業 所 愛知県清須市西枇杷島町弁天45 ヤマモリビル1F
〒452-0006 TEL 052-509-2485 FAX 052-509-2486

大 阪 営 業 所 大阪府大阪市港区市岡元町2-8-18 ワールドビル2F
〒552-0002 TEL 06-6583-3310 FAX 06-6583-3325



ISO 14001取得企業